

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位
対象学年組：第3学年 1組～7組
使用教科書：（高等学校 論理国語（大修館書店））
教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	1 自己と他者 ・対比の意図や具体例とまとめの関係を的確にとらえる。 ・「贈与」という行為の意義を読み取り、人間社会について考えを深める。	「人はなぜ贈与するのか」松村圭一郎	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、対比の意図や具体例とまとめの関係を的確にとらえようとするとともに、「贈与」という行為の意義を読み取り、人間社会について考えを深めようとしている。	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1
	2 コミュニケーションの手段 ・実際のコミュニケーションは「記号的メディア」と「物理的メディア」とを併用して行われていることを理解する。 ・対比的な概念を的確にとらえ、筆者の主張をつかむ。	「記号的メディアと物理的メディア」伊藤亜紗	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・メディアについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとりえようとしている。	○	○	○	12
	定期考査							○	○	

2 学 期	3	メディアの変容 ・具体例と筆者の主張との関係を的確にとらえる。 ・スポーツとメディアの関係についての考えを深める。	「消費されるスポーツ」多木浩二				【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	12
	定期考査							○	○		1
	4	言語の探究 ・根拠に注目しながら、筆者の主張を読み取る。 ・日本語の特徴について考え、言葉に対する理解を深める。	「人を指す言葉—自称詞・対称詞・他称詞」鈴木孝夫				【知識・技能】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の根拠に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	14
	定期考査							○	○		1
3 学 期	5	政治と社会 ・筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り、主張を理解する。 ・意思決定のしくみに興味をもち、社会制度のあり方を考える。	「多数決を疑う」坂井豊貴				【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、筆者の問題意識を把握しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	8
	定期考査							○	○		1 合計 62